

# 小学部5年 朝の会（日常生活の指導）

取組の理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 児童の課題解決のためにタブレット端末を活用する。</li><li>・ 伝える力を伸ばすコミュニケーション指導を推進する。</li><li>・ 「Drop Tap」を使うための下地づくりをする。</li></ul>
使用端末 ツール、アプリ	GIGAスクール端末、ビッグマック、コミュニケーションボード、AppleTV、モニター 教材作成アプリ「Finger Board」「DropTap」、タップ練習アプリ「たっちゃんのコネ ク島」「タッチランド」「Sound Tatch」)
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 朝の会において、「おはようございます」「曜日」「天気」「給食メニュー」「おわ ります」の場面で、児童がGIGAスクール端末の画面をタップすると音声が出ると うにした。それぞれの児童について、適切な役割を決めて行った。</li><li>・ コミュニケーションボードを作成、要求内容を絵カードにし、シンボル「ドロップ ス」を用いて児童からの要求を引き出すようにした。要求内容や使用できるドロップ スを増やしていきたいと考えている。ローテク（絵カードを使ったコミュニケーション ボード）を併用し、将来的にGIGAスクール端末に移行したい。</li><li>・ 余暇活動のために、児童が好きな歌の動画をGIGAスクール端末に入れた。GIGAス クール端末の画面で、画像を選択してタップすると、児童が好きな歌をかけること ができる（主に授業の合間に用いた）。</li></ul>

## 小学部5年

# 朝の会（日常生活の指導）

授業後の児童・生徒の様子や変化

- ・ある児童は、これまで登校直後の給食メニューの確認を紙で行っていたが、GIGAスクール端末を要求し確認するようになった。
- ・ある児童は、コミュニケーションボードを伝達手段として使うようになった。コミュニケーションボードの導入により、自分からひらがなを読む機会が増えた。
- ・朝の会で曜日を発表していた児童は、曜日の感覚は少ないのでマッチングになっていたが、天気を発表するようになり、しっかり考えてGIGAスクール端末の画面をタップするようになった。

ICT機器を使ってみて

◎：よかったところ  
△：課題、問題点等

- ◎朝の会で、それぞれの児童にGIGAスクール端末を用いた役割を提供することができた。
- △児童からの要求内容を増やす。
- △使用できるドロップスの数を増やす。
- △コミュニケーションボードを「DropTap」に移行したい。（ローテクからハイテクへ）
- △タップがうまくいかない児童について、手指の操作に工夫はみられるが、まだ成功率は高まっていない。
- △ある児童については、将来的に絵日記としての活用を考えていきたい。
- △現状では「DropTap」と「Finger Board」を併用しているが、将来的にどのように使っていくか。